

地域色で盛り上がる、野間小学校PTA活動

たけ しょうぞう
武 祥三
中種子町立野間小学校PTA会長

本校のPTA活動は、専門部と、学年・学級PTA、そして地域PTAの三つの部門がそれぞれに独自の活動をしながら連携を図っています。ここでは特に、運動会における地域PTAの活動を中心に報告したいと思います。野間小学校の地域PTAは18の集落が単独または合併して、七つの地域PTAで様々な行事に参加しています。

地域の伝統を大切に引き継ぐ取組

小さな集落が多い分、その活動は多岐にわたるのが本校の地域PTAの特色でもあります。人が少なければ少ないほど人々をよく知るのも地域のよさであり、集落ごとに開かれる敬老会には必ず子どもたちが参加して高齢者に元気をプレゼントしています。また多くの集落で、地域神社の六月燈に参加したり、「年頭の



運動会地域対抗玉入れ

ご祝儀申し上げます」で始まる1月7日の「福祭門(文)」(くさえもん)に地域の青年男性に混じって子どもたちも各家々を回ったりして、地域の人々・文化に触れあっている姿が多く見られます。

運動会伝統の緑門づくり

運動会に向けた準備で重要なものは、伝統の緑門作りです。運動会の数日前、PTA保健体育部とPTA三夜の20数人が集まり、杉の葉集めと緑門の土台作りから始まります。ああでもない、こうでもないと話しながら、進めていく作業も楽しいものです。取つてきた杉の葉を一本一本丁寧に隙間なく刺していくとだんだんと緑色にもりあがった緑門の出来上がりです。出来上がった緑門は、いろいろな方向にワイヤーで引つ張られ、台

風が来てもびくともしません。子どもたちが下校する時は、朝にはなかつた大きな緑門ができており、子どもたちは驚きながら緑門をくぐって帰ります。そして、子どもたちの運動会への気持ちは高まっています。

地域対抗で盛り上がる運動会

運動会のPTA種目は、七つの地域PTAに分かれて競われます。保護者の応援席テントも地域ごとに場所が決まっているため、子どもたちが男女別で学年毎にバトンをつなぐ地域対抗リレーでは、代表の子どもが前

を走るたびにその子の名前を呼んで地域全体で大合唱が起ります。また、保護者のみでの

地域対抗競技には「玉入れ」と「綱引き」があります。「玉入れ」では、地域ごとに様々な工夫がなされ、チーム内での役割分担や作戦などは、勝つても負けても次への参

考となる好勝負が見られます。「綱引き」では、選手のみならず地域の応援席、それに子どもたちの声も一体となって「それいれ！よいしょ！」と運動会後半にかけて大きな盛り上がりを見せます。

種目ではありませんが、「親子リレー」には、わが子が6年生最後になると集落カラーのTシャツを着て参加してくださる地域もあり、親が子どもへの思い出づくりに一所懸命に参加してもらっている姿があるのも野間小学校の運動会です。

これからの地域PTAを考える

このように、地域がPTA活動を盛り上げる大きな力となっている本校ですが、一方では少子化の影響も大きく、複数集落が合併して編成された地域PTAでも学年毎に子どもの編成をするのが困難な地域も出てきて、地域の再編が数年

来の懸案事項でもありました。昨年度末と今年度初めのPTA総会で、この懸案事項を解決する年に



運動会緑門作り

したい旨の協力をお願いしました。そのかいもあり、常任委員会で検討の上、地域委員長さんの賛同を得て、七つの地域を五つの地域に再編して秋の運動会に

臨む最初の年になります。新たな地域の息吹が本校PTAに新たな力を加えてくれることを楽しみにしています。